

話しことばプログラム

「自信をもって人前で話すことができたなら」

「グループワークが苦手。でも社会に出たときにそれではいけないのでは？」
「人前で話すこともコミュニケーションも嫌いではない。もっと得意になりたい！」

話しことばプログラムでは、実社会へのスムーズな移行を目指し、日本語コミュニケーションの力、特に、「意思疎通」、「協調性」、「自己表現力」の向上に取り組んでいます。得意な人はもっと得意になるよう、苦手意識のある人は、克服し自信をつけられるよう応援しています。

授業では、1年次に基本的な口頭表現に関する学習をし、2年次以降は興味関心に合わせて、スピーチ、プレゼンテーション、朗読などを履修。各授業のテーマに合わせて力をつけていきます。発声発音練習やコミュニケーションの考え方などの基礎学習、繰り返しの練習、さらに、朗読会や番組制作など発展的な実践練習によって、実社会で応用できるよう取り組んでいきます。



日本語教員資格

グローバル化が進み、アニメやJ-POPなど、日本文化が世界の人々に広く受け入れられるようになりました。また就労目的で訪日する外国人も増え続けています。日本語教師という仕事は、日本語を母語としない外国人を対象に日本語を教える仕事です。日本人だったら誰でも簡単にできるというのではなく、専門的な知識が必要です。日本語のしくみや面白さをいかにわかりやすく学習者に伝えるか、とても奥が深く、やりがいのある仕事です。

本学日本語教員養成課程の最大の特長は、教育実習プログラムが充実している点です。履修者全員が学外教育機関に赴き（2022年度一京都工芸繊維大学、京都日本語教育センター京都日本語学校、京都民際日本語学校、京都言語文化学院など）、実際に外国人学習者を相手に、日本語を教える実習を行います。学習者から鋭い質問が出て、答えに窮する人が出るなど、なかなかスリリングな体験です。この実習があまりに楽しいので、一般就職ではなく、日本語教師に進路変更する人も少なくないのです。



Topics



1 魅力的な科目ラインナップ

「異界・妖怪学」「クールジャパン論」「物語舞台論」「国際日本文化論」「アジア文化論」「インターネット社会論」など、現代を生きるみなさんの興味関心に応える科目が用意されています。「国文学概論」「中東文化論」「西洋美術史」のようなベーシックな人文系の科目とともに、多方面から文化の学びを深めることができます。

2 文化を体験して学ぶ 実践的な授業

国際日本文化学科では、4年間にわたって体験的な学びを重視しています。1年次必修科目「基礎演習」では、出版関係者や芸術家など、文化に携わっている方々をお招きして講演や体験講義を開催しています（これまでに紙芝居パフォーマーや能楽師の先生を講師にお招きました）。2年次以降も、授業やゼミの一環として、文化の体験が取り入れられており、学生の可能性を広げています。



3 楽しい本の世界を伝える活動

学生の有志グループ〈ライブラリー・メイト〉は、本学の図書館発展の提案、オープンキャンパスでの図書館案内、著作権の知識やデザイン力を生かした菜やリーディングトラッカーの制作、図書館での本の展示、他大学の図書館関係学生グループとの交流会などの活動をおこなっています。

Department of Japanese and Global Cultures



〔国際言語文化学部〕

国際
日本文化
学 科

京都で世界の多様な
文化を学び、体感し、
社会で生きる力を培う



活躍する学生

Active Students

府民の皆さんに広東語と広東料理を教えるイベントを企画・実施しています。

S.K.さん
(香港出身留学生/2022年本学科卒業)
京都府名誉友好大使



京都府も含め日本の魅力を発信し、様々な国際交流活動に参加しています。

N.J.さん
(ベトナム出身留学生/2022年本学科卒業)
京都府名誉友好大使



Y.I.さん
(愛媛県立今治南高校出身/
2022年本学科卒業)
2019年～2020年京都市環境審議委員



京都ノートルダム女子大学
Kyoto Notre Dame University

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地
入試課 TEL: 075-706-3747 FAX: 075-706-1355
広報課 TEL: 075-706-3659 FAX: 075-706-3880
<https://www.notredame.ac.jp/>



京都ノートルダム女子大学
Kyoto Notre Dame University

◀ 日本文化・世界文化の魅力を学んで世界へはばたこう！ ▶

日本語 日本文化領域

Japanese Language and Culture

日本近代文学が
西洋文学から受けた影響に
ついて学んでいます



祇園祭の鯉山で飾られる懸装品は400年前にベルギーで作られたタペストリーですが、今、本国ベルギーには一つも残っていないとか。また、正倉院宝物として有名な白瑠璃碗は1500年前にペルシャで作られた切子ガラスで、完全な形で保存されているのは世界でこれ一つだけだそうです。こんなふうに古くから外国の文化を大切にしてきた日本文化の魅力をじっくり学びます。

国際文化領域

Global Culture

韓国の伝統的な
あそびを体験しながら
韓国の文化について
学んでいます



ワインボトルの横にリンゴやレモンがごろり—そんな静物画を西洋の画家たちはなぜたくさん描いたのでしょうか。イスラーム教の影響が強い国では、なぜ国旗に三日月が描かれるのか。“black tea”の翻訳語が「黒茶」ではなく「紅茶」になったのはなぜ？ こんなふうに次々に疑問が広がっていきます。ミステリーに満ちた、世界のさまざまな文化について、幅広く学びます。

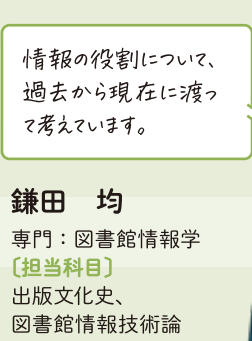
◎ こんな先生たちがいます ◎



児童文学と声楽と猫が好きで、研究対象は学校図書館です。

岩崎れい

専門：図書館情報学
[担当科目]
識字活動と子どもの権利、
学習指導と学校図書館



情報の役割について、過去から現在に渡って考えられています。

鎌田 均

専門：図書館情報学
[担当科目]
出版文化史、
図書館情報技術論



三十一文字が紡ぐ世界の広がりが好きで、近代短歌を研究しています。

河野有時

専門：日本近代文学
[担当科目]
国際日本文化論、
日本文学特講



映画やTVドラマを楽しみながら、トレンドや表現方法等を見えています。

平野美保

専門：教育学、コミュニケーション能力育成
[担当科目]
日本語の朗読、日本語コミュニケーションII



日本の言葉を解剖しています。井ノシシ(猪)の意味は御存じですか？

蜂矢真弓

専門：日本語学、国語学
[担当科目]
国語学概論、
日本古典文学講読



イタリアのバチカン王国の近くに9年間住んでいました。ヨーロッパの教会巡りが趣味です。

中里郁子

専門：聖書神学、キリスト教学
[担当科目]
聖書とキリスト教、キリスト教とラテン語



身体を動かすのが好きで、アラブの踊りを習っています。

鷺見朗子

専門：アラブ文学、
アラビア語教育学
[担当科目]
中東文化論、アラビア語



西洋美術史、西洋美術史、博物館概論

吉田朋子

専門：西洋美術史
[担当科目]
西洋美術史、
博物館概論

世界中の図書館を訪れ、中国語で書かれたさまざまな資料を調査しています。

朱 鳳

専門：中国語学、
日中近代語彙交流史
[担当科目]
言語文化概論、
日中近代語彙比較論



西洋美術は、芸術家も主題もドラマチックでワクワクします！



韓国では受験の時にわかめスープを飲むのは厳禁です。理由は「すべる」から。

石川裕之

専門：比較教育学
[担当科目]
教育原論、アジア文化論

キリスト教と音楽文化の関連を研究する傍ら、演奏活動もしています。

久野将健

専門：キリスト教音楽、
音楽表現学
[担当科目]
キリスト教音楽、
音楽文化概論

国際観光プログラム

国際観光プログラムは、本学が位置する国際観光都市、京都をフィールドとして、文化交流や情報発信のあり方、観光やツーリズムの概要について学ぶとともに、日本と世界の文化に広く光を当て、幅広い教養を身につけることを目的としています。具体的には、さまざまなプロジェクトを企画立案し、実行する中で、観光資源としての風土の魅力に触れ、課題を主体的に解決する力、他者と協働する力、情報を収集・選択し、適切に処理する力などを育みます。



本プログラム修了者は、旅行業界、ホテル業界など観光関連分野や一般企業、行政機関でも即戦力となる人材として、活躍が期待されます。

卒業までに所定の20単位を修得すれば、学科より「国際観光プログラム修了証」が授与されます。

必修科目	国際日本文化論、観光学概論
選択必修科目	観光文化論、観光ビジネス論、地域ツーリズム論
選択科目	日本伝統文化論、日本年中行事論、京都学、京都フィールドワーク研究、日本の歴史と文化、日本美術史、異界・妖怪学、クールジャパン論、西洋美術史、ヨーロッパ文化論、アジア文化論、アラブ・イスラーム文化論、キリスト教文化、異文化間コミュニケーション、ホスピタリティ・スキル、ホテルビジネス研究、ビジネスマナー演習など
インターンシップ・実践科目	インターンシップ先の例：京都市観光協会、旅行会社など

ICCO文化交流創成コーディネーター

(通称:インターカルチュラル・コーディネーター)

国際化の流れがいつそう進みつつある現代、新しい時代や社会をどう作っていくかというのをしっかり見据えた人材が求められています。このICCOという資格は、地域と世界、自文化と異文化など、地域や文化間の関係のあり方について理解力を備えた人材に与えられる資格として日本国際文化学会が創設したものです。本学で所定の16単位を取得し、同学会主催の短期集中セミナーに参加すれば、資格が授与されます。将来観光業、国際交流事業、国際貿易業などの職業につきたい方にお勧めします。



「ICCO短期集中セミナーに参加して」 小泉舞華

1年生(2019年)の時に短期集中セミナーに参加しました。全国から集まった学生や先生方と交流できて、とても内容の濃い6日間が過ごせました。私は「外国人観光客の片思い」というグループ・プロジェクトに参加し、自分たちで文化交流についての問題を設定し、街頭でのインタビューや施設見学などのフィールドワークを通して解決の糸口を探りました。セミナーでいろいろな活動をしたことにより、英語力やパソコン技能、アンケートの作成技術などを身につけることができました。